

国民年金からのお知らせ

海外で暮らす方へ

年金裁定請求方法を お知らせください

国民年金、厚生年金などの年金を受けるためには自身で申請手続(裁定請求)をします。

海外で暮らす方は、最初に裁定請求書を取り寄せる必要があります。裁定請求書は、日本の社会保険事務所に連絡して取り寄せるか、社会保険庁のホームページからダウンロードして入手ください。

▽裁定請求書提出先

・国民年金(基礎年金)：日本で最後に住んでいた市区町村を管轄する社会保険事務所

・厚生年金：最後に勤めていた事業所を管轄する社会保険事務所



■社会保障協定を結んでいる

国に在住している場合

日本が社会保障協定を結んでいる国のうち、給付の通算を行っているドイツ、ア



メリカ、ベルギー、フランス、カナダ、オーストラリア、オランダ、およびチェコに在住している方は、日本への年金の裁定請求書、各国で年金制度を実施する機関の窓口へ提出することができます。

裁定請求書は、協定締結国専用のもので用意されており、社会保険庁のホームページからダウンロードすることとなります。また、各国の窓口で裁定請求書を手取することもできます。

■年金受給方法

海外での年金受給は、銀行振込みとなります。銀行口座は、海外のものでも国内のものでも構いませんが、口座は本人名義でなければなりません。

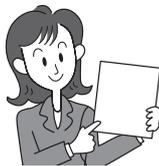
詳細は、社会保険庁ホームページまたは「ねんきんダイヤル」に問合せください。

年金を受給中の方へ

■住所・支払機関を 変更するとき

変更するとき

引越などによる住所・支払機関の変更は、「年金受給権者住所・支払機関変更届」を提出ください(市役所での住民異動の手続とは別に、受給する年金の住所変更手続が必要(です)。



この変更届の提出がない場合は、「年金の支払額の通知が届かない」、「希望の金融機関で年金が受け取れない」などが起こります。

※住所変更の処理が済むまでは、年金に関する通知が前住所に届きます。

※支払機関の変更には、「支払機関変更届」に金融機関の証明印が必要です(ゆうちょ銀行の窓口受取を希望する方は、金融機関の証明は不要です)。

※支払機関の変更手続は、

■氏名を変更したとき

結婚や離婚、養子縁組などで、氏名の変更をしたときは、「年金受給権者氏名変更届」に年金証書と住民票(または戸籍抄本)を添付して、提出ください。

なお、「氏名変更届」に住民票コードを記載した場合や、「氏名変更届」の証明欄に市長の証明を受けた場合は、住民票(または戸籍抄本)の添付は必要ありません。

■年金証書の再発行

年金証書は、年金を受ける権利の証明であり、各種の届出に必要な書類です。年金証書を紛失や破損をした場合は、「年金証書再交付申請」で再発行の手続きをしてください。

※「年金受給権者住所・支払機関変更届」・「年金証書再交付申請」

「氏名変更届」の用紙は、社会保険事務所、市役所市民課、各総合支所市民生活課にあります。



豊岡社会保険事務所 からのお知らせ

年金相談窓口を時間延長

年金相談窓口を次のとおり時間延長します。

お越しの際には、年金手帳など基礎年金番号の分かるものを持参ください。

なお、代理者のときは、委任状と代理者の身分証明書を準備ください。

●8月8日(土)は

午前9時30分～午後4時

●8月3日・10日・17日・24日

●31日の毎週月曜日は

午前8時30分～午後7時

●電話での問合せ

・ねんきんダイヤル

☎0570-051165

・IP電話・PHS

☎03-6700-1165

●年金個人情報サービス

社会保険庁

ホームページアドレス
<http://www.sia.go.jp>

《問合せ》

▽豊岡社会保険事務所

☎22-0945

▽市民課市民係

☎21-9015または各総合支所市民生活課



目指せ! 山陰海岸ジオパーク

シリーズ8

円山川(後編)

市では、京都府・兵庫県・鳥取県の民間団体や行政機関と連携し、竹野海岸、日和山、玄武洞公園などの山陰海岸国立公園や神鍋高原などを中心としたエリアを「山陰海岸ジオパーク」として、世界ジオパークへの認定を目指しています。このジオパークについて、市のジオパーク普及啓発専門員(北但層群化石研究会代表)の三木武行が、シリーズで紹介します。

《問合せ》観光課 ☎21-9016



▲玄武洞

国の天然記念物「玄武洞」は、文化4年(1807年)ごろ、江戸の儒学者の柴野栗山が、この洞が古代中国の北を守る神「玄武」に似ていることから命名しました。玄武洞が有名な理由は3つあります。1つ目は、岩盤に規則正しい節理が見られ、きれいで珍しい景観であることです。2つ目は、明治17年(1884年)に東京大学の小藤文治郎博士が、この玄武洞から英名の「Basalt(バサルト)」を「玄武岩」と命名したことです。3つ目は、大正15年(1926年)に京都大学の松山基範博士が、地球磁場の逆転を玄武洞の玄武岩で発見したこ



図「玄武」

とです。この発見により、約78万年前から258万年前を「松山逆磁極期」と名付けられました。160万年前に噴出した玄武洞の岩石に含まれる鉄分は、現在とは逆にN極が南を向く磁性を示していたのです。この地磁気の逆転現象により、海洋底が拡大することが証明され、現在の地質学の基本となるプレートテクトニクス理論(地球表面が十数枚のプレートと呼ばれるジグソーパズルのような板で組み合わされているという説)が完成することに大きな役目を果たしました。豊岡地域は、厚さ約40メートルもの堆積層があり、地下工事では海生の貝殻が見つかります。また、約13万年前の間氷期



▲中谷貝塚

(氷河期と氷河期の間の温暖な時期)には、現在の海面より約20メートルも高くなっていました。その証拠に青龍洞の南や円山川下流の両岸で中位段丘として当時の河川堆積物が見つかります。約6、000年前の縄文時代は、縄文海進と言われ、世界的に海面が現在より4〜5メートル高くなっていました。中谷では、貝塚の跡が見つかり、当時この付近まで海が進入していました。この沖積低地では、古くから稲作が行われ、コリヤナギを利用した柳行李から現在の靴産業へと発展しました。次に、円山川支流である出石川をさかのぼると、古い城



▲出石焼

下町の雰囲気が残る出石のまち並みがあります。「出石焼」は、清らかな白磁の焼き物で、この陶石は、古第三紀の流紋岩に火山岩が貫入し、熱水による変成作用でできたカオリナイトです。日本海ができるときの火山岩の貫入によりできたと思われる金鉱山が、出石町奥山など但馬地域各地にありました。このように、大地の基盤である岩石鉱物が地形や地表を作り、自然や気候風土を形成し、人々はそれを利用して暮らしを豊かにしてきました。山陰海岸が世界ジオパークに認定されることによって、自然環境への理解と研究が進み、教育や産業に貢献できることが期待されています。